

高来図書室だより

2020年(令和2年)9月号 NO.168

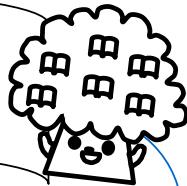
諫早市立高来図書室

〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)
Tel 0957-32-2395
開室時間 午前10時～午後6時

○ お月さま ○

空が澄み、お月見に絶好の季節となりました。旧暦8月15日の「十五夜」は、月を観賞するとともに、秋の収穫物やお団子などをお供えし豊饒を祈るならわしです。旧暦9月13日の「十三夜」とあわせて両方の月を愛でる風習もあつたそうです。図書室ではお月さまを扱った本を展示しています。どうぞご利用下さい。

高来図書室まめちしき 「かくれヨムッキー」



高来図書室にマスコットキャラクターがいることをご存じですか？本をよむことでたくさんの枝をのばしぐんぐんそだつ「ヨムッキー」です。

常連の子どもさんたちにはすでに大人気の「ヨムッキー」ですが、高来図書室内のどこかに10体のヨムッキーがかくれています。

そして見つけたら少し幸せな気持ちになるゴールデンヨムッキーもいるとか・・・お越しの際にはぜひ探してみてくださいね。



9月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	×	8	9	10	11	12
13	×	15	16	×	18	19
20	×	×	23	24	25	26
27	×	29	30			

×: 休室日



今月のおはなし会は
9月26日(土)午後2時～
の予定です。

※状況により中止になることがあります。

☆読書の秋☆ベストセラーって何部から??☆

朝晩に吹く風が心地よくなってきました。読書の秋です。この時期になるとなんとなく読書をしたくなるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで気になるのが今何が売れているのかというところ。よく耳にする「ベストセラー」といわれるものです。

ミリオンセラーが100万部以上というのは文字通りですが、はたして「ベストセラー」とはどれくらい売れたものを指すのでしょうか。

実は、ベストセラーには明確な定義はないそうです。本のジャンルによっても違えば、書店によっても違うそう。

例えば、人文書では1万部売れたらベストセラーと言われ、文芸書だと10万部前後でベストセラーと言われる。コミックだと100万部売れてもミリオンセラーとあまり言われないこともあります。また、子どものころ親しんできた絵本のように、ロングセラーと呼ばれ長年ずっと読み継がれている本もあります。

たくさんの人に読まれているということは一定の評価にはなりますが、ふらりと書店や図書館へ出向いて自分の今の気持ちに沿う本と出会えることも楽しみのひとつです。この秋は自分の中でのベストブックを見つけてみませんか？

(参考文献：日本著者販促センター「ベストセラーは何部から?」)

おすすめの本

『美しい海の生き物
きずな図鑑』

生き物たちの生態に驚かされるのはもちろんのこと、写真に収められた姿や表情をみるだけでも癒されます。ゆっくりと眺めてみてはいかがでしょうか。



おとな

『おめでとうかいぎ』

卒園した日の夜、なかなか眠れないゆうきくんは、通園バッグたちが開く「おめでとうかいぎ」に招待されます。そこで待っていたのは、ゆうきくんを見守ってきたものたちで…。



子ども

新着案内

【一般書】



『光秀の選択』

鈴木 輝一郎／著（毎日新聞出版）

織田につくか、足利将軍につくか。自由か、安定か。熟練武将・明智光秀は人生の岐路に、どう動き、何を守ろうとしたのか。足利義昭上洛(1568)から榎島城の戦い(1573)までを描く戦国小説。

『おいしくて泣くとき』

森沢 明夫／著（角川春樹事務所）

貧困家庭の子どもたちに無料で「こども飯」を提供する「大衆食堂かざま」。その店のオーナーの息子、中学生の心也は、こども飯を食べにくる幼馴染の夕花が気になっていて…。『ランティ工』連載を単行本化。

『毒島刑事最後の事件』

中山 七里／著（幻冬舎）

鋭い舌鋒で容疑者を落とす百戦錬磨の刑事・毒島。SNSの悪意×匿名性×承認欲求が引き起こす厄災と卑劣な敵を相手に、叡智と誇りをかけた戦いが始まる…。ノンストップ・ミステリ。『小説幻冬』連載を加筆し書籍化。

『そこにはない家に呼ばれる』

三津田 信三／著（中央公論新社）

自分の家が、一番怖い場所となる。蔵から発見されたのは、封印が施された3つの記録。それはすべて「家そのものが幽霊」だという奇妙な内容で…。ホラーミステリ作家・三津田信三による「幽霊屋敷」怪談。



その他の新着本

- ❖ 『九州・沖縄の巨樹 遠かなるいのちの旅』
- ❖ 『子育てベスト100』
- ❖ 『砂糖の代わりに糍甘酒を使うという提案』
- ❖ 『夢をかなえるソウ④ガネーシャと死神』
- ❖ 『名城の石垣図鑑』
- ❖ 『大人のオーディオ大百科2020』
- ❖ 『その悩み「9割が勘違い」』
- ❖ 『妖しい戦国 乱世の怪談・奇談』
- ❖ 『やせ筋トレ姿勢リセット』
- ❖ 『こねずのできるぶんわりもちもちフォカッチャ』
- ❖ 『寂聴先生、コロナ時代の「私たちの生き方」教えてください!』
- ❖ 『パソコン仕事最速時短術115』
- ❖ 『昨日も22時に寝たので僕の人生は無敵です』

【児童書】



えほん

『まっている。』

村上 康成／作（講談社）



釣りをするボク。魚がかかるのをまっている。クモは巣にエサがかかるのをまわって、花はハチやチョウがとまってくれるのをまわって…。「待つ」時間の豊かさを教えてくれる絵本。

よみもの

『消えた落とし物箱』

西村 友里／作 大庭 賢哉／絵（学研プラス）

校長先生から借りた大事な本がクラスの落とし物箱ごと見つからない! 勝手に消えたり現れたり、入れたものがきれいになったりする不思議な落とし物箱の謎を、チームワークゼロの5人が追う。

でんき

『牧野富太郎 日本植物学の父』

清水 洋美／文 里美 和彦／絵（汐文社）

日本全国の野山を歩いて集めた標本は40万点。調べて分類し、名前をつけた植物が1500種類。「日本の植物学の父」とよばれる牧野富太郎の94年にわたる人生を描く。富太郎採集マップ、富太郎ゆかりの場所なども収録。



そのほかのあたらしい本

- ❖ 『龍造寺隆信(コミック版日本の歴史)』
- ❖ 『じぶんでよめるこんちゅうずかん』
- ❖ 『ますくちゃんではんです』
- ❖ 『ルドルフとのらねこブッチー』
- ❖ 『カールはなにをしているの?』
- ❖ 『トリケラトプスのなんでもないいちにち』
- ❖ 『こども文様じてん』
- ❖ 『水族館のサバイバル』
- ❖ 『ねぐせのしくみ』
- ❖ 『じりじりの移動図書館』
- ❖ 『魔女と花火と100万円』